

チャノキイロアザミウマ情報第2号（カンキツ）

令和5年7月13日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

蒲郡市で誘殺数が急増しています。

1 発生状況

カンキツほ場に設置した黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫の誘殺数は、蒲郡市で多く、南知多町でやや多い状況です（図1）。特に、蒲郡市では6月第6半旬以降、誘殺数が急増しているため、本種の発生状況に注意が必要です。

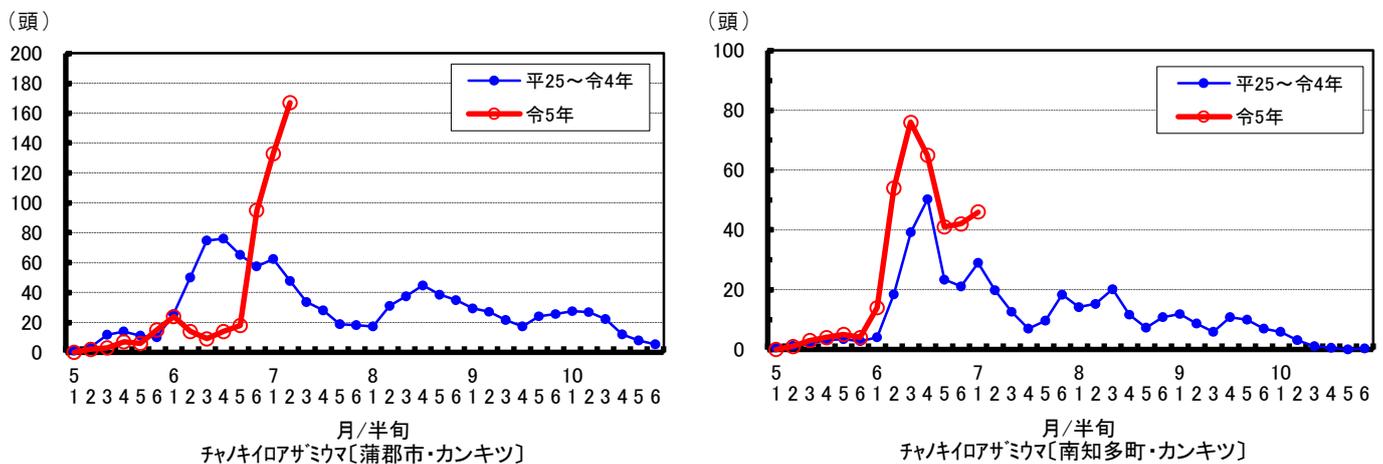


図1 黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫誘殺状況（カンキツ）

2 チャノキイロアザミウマについて

ウンシュウミカンでは、本種が6月から7月に加害すると、果梗部に灰色～灰褐色のリング状の傷が生じます（図2）。また、7月から9月に本種が加害すると、果頂部や果側部に灰褐色～褐色の雲形あるいは放射状の傷を生じます。

本種は寄主範囲が広く、イヌマキやサンゴジュ、チャ、ツバキにも好んで寄生するので、これらを防風垣にしているほ場や近くにこれらの植物が植栽されているほ場では被害を受けやすくなります。このため、周辺の寄主植物の発生状況にも注意しましょう。



図2 カンキツにおける被害

3 発生ピークの予測と防除

本種は成虫の発生ピーク時期が防除適期です。有効積算温度を利用したチャノキイロアザミウマ第4世代成虫（中山間部に位置する稲武は第3世代成虫）の発生ピーク予測日は、7月15日から7月28日で、前年と比較して前年並から4日早いと予測します（表）。発生が多いほ場では、表の成虫発生ピーク時期にコルト顆粒水和剤、コテツフロアブルなどで防除しましょう。なお、7月13日名古屋地方気象台発表の1か月予報では、向こう1か月の平均気温は高いと予測されており、ピーク予測日が早くなる可能性があります。

また、今後、梅雨明けに伴い発生量が増える可能性があるため、本種の発生状況に十分注意しましょう。

表 チャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日

	愛西	南知多	名古屋	大府	豊田	岡崎	蒲郡	豊橋	新城	伊良湖	稲武
第3世代	7/2	7/3	6/27	6/29	7/2	7/3	7/2	7/2	7/6	7/2	第2世代 7/6
第4世代	7/20	7/22	7/15	7/17	7/20	7/21	7/20	7/20	7/24	7/20	第3世代 7/28
(前年)	7/24	7/24	7/19	7/20	7/24	7/25	7/23	7/23	7/28	7/23	(前年) 7/28
前年差	4日早	2日早	4日早	3日早	4日早	4日早	3日早	3日早	4日早	3日早	前年差 ±0
第5世代	8/6	8/8	8/1	8/2	8/7	8/8	8/6	8/7	8/11	8/6	第4世代 8/18

各地のアメダス平均気温から予測。7月12日までは実測値を、それ以降は平年値を用いて計算。前年の第4世代（稲武は第3世代）は、前年気温の実測値を用いて計算。